



**第3回全国・現地合同世話人会議が開催されました！**

～顔と顔を合わせて語り合う社会教育の意義を確認！～

◆第三回全国・現地合同世話人会報告

▼四月十五日、大阪観光大学において第三回全国・現地合同世話人会が開催された。全国各地から現地の下見を兼ねて70人以上の世話人が集まった。

開会前には、過去の集会のダイジェスト映像を流し、集会のイメージを共有した。今回初めて世話人に関わる私達たちにも、**多様な世代が「答えのない課題」を真剣に考え、協議している熱量**が伝わってきた。

▼会の冒頭では、姉崎洋一先生による主催者挨拶、山本健慈先生による開催地歓迎の挨拶をいただいた。

現在の社会教育全体を見渡したときの本集会の意義や、集会をきっかけとした「**社会教育実践的の大学再建**」について語られた。  
(吉水)

◆アトム共同保育園の  
実践から学ぶ

▼学習会では、大阪府熊取町にある**アトム共同保育園**の園長である**野中泉**さんにご講演をいただいた。

働きながら子どもを育てたいという親は少なくない。一方で、働く親にとって保育はサービスになりつつある中で、

アトム共同保育園では、親、職員が互いに語り、助け合い、地域で子どもを育てていくことを大切にしている。

▼そんなアトム共同保育園も、「コロナの影響で「不要不急」の行動を自粛し、「やむを得ない」場合を除いて、保育園を休んでもらう、託児所のような形になってしまった。しかし、一人の親の「嘘」をきっかけにして、職員同士が率直な胸の内を共有し、これまでアトムが大切にしてきた「**誰も孤独にしない**」という強い思いを取り戻していったという。

▼一人の保護者の問題に深く向き合う中で、既存の常識からはみ出すことも少なくないと野中さんは語る。アトム保育園での実践は、子どもだけでなく、親・職員も学ぶ、まさに「**人が育ちあう機会**」になっているのだろう。



野中さんの語りからは、現場の職員の生の声が伝わってきた。コロナの影響で三年ぶりの対面中心開催となる関西集会。まさに「**生の声**」を感じられる学習会であった。  
(玉置)

集会連絡帳

5/21(日)  
13:30  
～16:30

社全協関西ネットワーク20周年記念事業  
第62回社会教育研究全国集会(プレ集会)  
～「私」から始まる「社会教育」と出会う～  
まなびの広場 会場:貝塚市立浜手地区公民館

『月刊社会教育』7月号は、本集会の特集号です！  
本集会報告予定の実践や学生からの寄稿が多数♪  
「社全協関西ネットワーク20年のあゆみ」なども。  
集会参加者は、ぜひご一読を♪ 各地で開催している「月刊読む会・語る会」への参加もおススメです♪

速報後記：集会広報班のメンバー募集中♪希望者は事務局まで現在のメンバー：佐藤、玉置、舟瀬、水本、吉水、輪玉、山田(班長)『月刊社会教育』7月号には、広報班メンバーも寄稿してまあ～す

◆「基調提案」(素案)の紹介

▼「**基調提案**」は、文字通り本集会の基礎となるもので、現代の社会課題や地域課題とその展望が、社会教育の視点から集約されている。今回の執筆全国担当の古里貴士さん(東海大学)や、現地担当の村田和子さん(和歌山大学)から、その素案が紹介された。これらをもとに、四月末まで意見を寄せあい、討議を重ねた上で、集会までに仕上がる予定。  
(山田)



◆分科会の打合せの風景

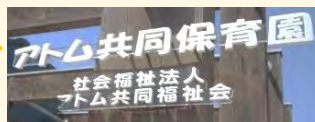
全17

◆熱く語りあつた夜の懇親会

全国・現地合同世話人会終了後、日根野にある「すし半 佳羅守」にて懇親会が開かれた。鍋にお刺身、煮付けに天ぷら、お寿司などなど美味しい料理が次々と運ばれてくる中で、自己紹介やそれぞれの分科会の状況報告が行われ、各テーブルでもいろいろな話に花を咲かせていた。

実際に懇親会に参加した学生からは、「はじめましての人がほとんどだったけれど、進路相談をさせてもらうなど、**いろんな繋がりができた**」、参加者からは、「直接会ってこそ、**その人の考えや熱量がよくわかった**」というようなことも語られた。全国・現地世話人会、そして懇親会を通して、「リアルに**会う意味**」が参加者の間で確かめあつた夜となつた。  
(輪玉)

### 古今東西 おでかけ速報



アトム保育園に入ってまず見えるのは、園長の野中さんが自慢だと話されていた事務室。来園者はみんな事務室の前を通り、スタッフの方々は、**外向きになった机で仕事をする**という一風変わった配置である。しかし、「この配置は、「誰かに相談するための高いハードルを下げる」というより**気軽に相談できる**という雰囲気づくりにつながっている。」

もう一つ、野中さんが自慢だと話していた、「アトムの子どもたちは何かあつたときに**ことん話し合う**ということ。」「とことん話し合う」とは、時間がかかるし、疲れることだと思ふ。しかし、これを避けていては、**本当の意味での「信頼」、そして「問題の解決」**は生まれない。このことを子どもたちから教えてもらうことができたアトム保育園の訪問だった。  
(輪玉)



2023.4.16 アトム共同保育園にて